

た

だい(題) 三三オ⑥
だいでやうだいじん(太政大臣)

cf ことがのー
だいなこん(大納言)

cf こにふだうー

たいふ(大夫) 三ウ①・四ウ③・六オ②
だいが(大夫)

cf くわうたいこうぐうのー
たうとし(尊) ーたふとし

たえま(絶間) 二七オ②
たが(誰)(連語) 一七オ⑨

たかし(高)(形)
ーく圍三〇オ⑤ 雲井にたかくいつ
かなのらん

ーし圍二二ウ⑦ 浪いとたかし
(二二ウ⑧) 浪もたかしのは
まならん

ーき圍一七ウ③ 雪さへたかき山
たかしのはま(高師浜) 一二ウ⑧

たかしのやま(高師山) 一二ウ⑤
たがふ(逢)(動四)

ーひ圍一五オ③ きしにはたかひて

たくひ(類) 一ウ⑩

たぐふ(類)(動四)

ーふ圍三三オ④ 恋しのふこゝろや
たくふ

たけ(竹) 一ニウ⑩・一二オ④
たご(田子) 一八オ④

たごのうら(田子浦) 一八オ②
たしかなり(形動)

ーに圍一七オ⑥ たしかにみえし物を
なる圍二〇ウ⑧ たしかなるひんき
二六オ⑤ たしかなる所

ーなれ圍一オ⑤ かきをく跡たしかな
れとも

たすく(助)(動下二)

ーけ圍二オ⑧ 家をたすけむ
ーけよ圍二オ④ 道をたすけよ
三六オ① 身をたすけよと

ただ(副) 一ウ②・五オ⑥・五ウ⑦・
九オ⑤・一三ウ⑩・一五ウ④・一
六ウ⑩・一八オ⑩・二一オ⑦・二
七オ⑥・二九ウ②・三六オ④

ただいま(只今) 二四オ⑨
ただす(糺)(動四)

ーす(二七オ①) ことはりをたす

の森

ただすのもり(糺森) 三七オ①

たたふ(漙)(動下二)
ーへ圍二五オ⑦ 枕のしたにたふへて
ただよふ(漙)(動四)

ーふ圍二七オ① かすみたふよふ春
たち(接尾)

cf かみー・ひじりー

たちいる(立入)(動四)
ーり圍一六オ⑥ ひるたち入たる所
たちかふ(裁替)(動下二)

ーへ圍二九オ⑥ 夏衣はやたちかへ
て

たちかへり(副) 一三オ③

たちかへる(立返)(動四)
ーる圍五オ⑦ こゝろのゆきて立か
へるほと

二七ウ② 浪のたちかへる世
を

たちさる(立去)(動四)
ーら圍三ウ⑦ われ立さらは

たちさわぐ(立騒)(動四)
ーく圍一六ウ⑩ 浪たゝ枕に立さはく

たちそふ(立添)(動四)

一 囿三二ウ② 草の枕にもたちそひ

て

一 囿五ウ*⑥ たちそふそうれしか

りける

二 〇オ*⑧ 浪に立そふうらの

あさ霧

たちつづく(立続)(動四)

一 き囿七ウ⑨ 峯に立つゝきたる松

たちはなる(立離)(動下二)

一 れ囿二〇オ*⑩ 立はなれよもうき

波はかけもせし

たちまじる(動四)

一 り囿一一ウ② ときは木ともゝたち

ましりて

たちよる(立寄)(動四)

一 り囿八オ③ 猶立よりてくむめり

たちわかる(立別)(動下二)

一 れ囿三四オ*⑦ 立わかれふしの煙

を見て

三四オ*⑩ かり初にたち別て

たつ(立)(動四)

一 た囿一七オ③ 煙もたゝす

一七ウ*⑤ けふりもたゝすな

りなは

一 ち囿三オ⑦ いそきたちぬ

二 〇オ⑤ なみのうへに霧たち

て

二 二オ*③ しぐれにたちした

ひ衣

三 二オ⑧ 志賀の浦浪たち

一 つ囿二七オ*③ 花のおもかけにた

つ

二 七ウ*⑥ おもかけにたつ

一 つ囿三オ② 三冬たつはしめの空

二 三ウ*⑤ たつ日をきかぬ

二 三ウ⑩ たつ日をしらぬ

二 四オ*③ たつ日をたにも

cf いでー・おもひー・おりー・さき

ー・めにー

たつ(裁)(動四)

一 ち囿二二オ*③ しぐれにたちし

たひ衣

たづ(田鶴)

cf あしー

たづさはる(携)(動四)

一 り囿二オ① 其跡にしもたづさはり

て

たづね(尋)

御一 二三ウ③・二九オ⑩

たづぬ(尋)(動下二)

一 ね囿一〇オ*⑦ みるめたつねて

三 一ウ⑩ たよりたつねて

三 二オ*⑤ 露をたつねて

たづねく(尋米)(動力変)

一 き囿一三ウ*⑤ かけをたつねきて

一 八ウ*③ たつねきてわかこ

えかゝる

たてまつる(奉)(動四)

一 り囿三一ウ⑨ かきてたてまつりし

を

一 る囿一八オ⑧ よみてたてまつる

二 四ウ③ 文たてまつるとて

二 六ウ② 歌ともかきあつめて

奉る

三 一ウ④ かきつけ奉る

一 る囿一〇オ① かきつけて奉る歌五

たてまつる(奉)(補助動四)

一 り囿四ウ② 人にきかせ奉りたくて

三 〇ウ⑥ 御子にし奉り給へり

一 る囿二六オ⑦ 程もへすまぢ見奉る

たどたどしさ(名) 二二五ウ⑤

たどりいつ(動下二)

―で 圃八オ① 霧のまよひにたどりい

てつ

たどりわたる(動四)

―る 圃一九ウ⑦ いとくらくてたとり

わたる

たどる(動四)

―る 圃一一オ③ なをすゑたとる野

へのゆふやみ

たにがは(谷川) 三六オ②

たにのと(谷戸) 二五ウ⑤

たね(種) 三五オ⑧・二五ウ⑨

たのみかはす(頼交)(動四)

―し 圃二四オ⑥ たのみかはしたるあ

ね君

たのむ(頼)(動四)

―む 圃五ウ⑥ かたみにたのむおや

のまもりは

二一オ⑨ めくりあふ末をそ

たのむ

二七ウ① たのむそよ

三七オ⑥ たのむそよ

―め 圃六オ⑤ 君をこそあさ日とた

のめ

たのむ(頼)(動下二)

―め 圃六ウ⑨ 又あふさかとのため

てそゆく

たのもし(形)

―し 圃二八ウ⑥ たのもしな

たび(度)

cf このー・ふたー・みー

たび(旅) 六ウ⑧・三三オ⑥・三四オ③

御― 二三オ⑨

たびころも(旅衣) 五オ⑥・五ウ⑤・

二一オ①・二二ウ⑥・二二オ③

*⑥・二三ウ④・二四オ②・三二

ウ⑧

たびたび(度々) 二二ウ②

たびのそら(旅空) 二八オ⑦・三一オ①

*⑤・三二ウ⑩

たびね(旅寝) 一四オ⑥・三一ウ⑦・

三二オ④

たびひと(旅人) 七ウ④⑥・八ウ⑥・

一一ウ③

たぶ(給)(補助動四)

―べ 圃三三ウ⑩ こまかにしるしたへ

と

たふとし(尊)(形)

―く 圃二八ウ⑦ しるしいとたうとく

て

たへなり(妙)(形動)

cf たへなるのりのはな

たへなるのりのはな(妙法花)(連語) 二

八ウ⑨

たまくしげ(玉櫛笥) 一八ウ⑦

たまづさ(玉梓) 二四ウ⑩・三六ウ④

たまふ(給)(動四)

―へ 圃二二ウ⑥ をとつれ給へる使に

二五ウ⑩ 音つれ給へりし人

たまふ(給)(補助動四)

―は 圃一オ⑥ 人を捨給はぬ政

二二ウ⑥ みえさせ給はさりし

かは

―ひ 圃五ウ⑨ むまれ給ひしはかりに

て

二二ウ⑧ 心にかゝり給て

三〇ウ⑤ 年経給ひにける

三一オ① つゝみ給しかと

三四ウ③ くだり給ひし後は

―ふ 圃五ウ⑧ 女院にさふらひ給ふ

二二ウ③ 御かたとてさふらひ

給ふ

一 へ 困二六ウ① 歌をよみ給ふ人

三〇ウ⑦ つたはりてさふらひ

給なり

三一ウ③ 夢に見えさせ給ふよ

し

一 へ 困二一ウ② たひく入給へり

二二ウ① 歌あまたいり給へる

人

二七オ⑧ 返事し給へり

二八ウ④ かへりこととくし給

へり

二九ウ⑨ かきてをこそ給へり

三〇ウ⑤ まいらせをき給へる

まゝ

三〇ウ⑥ 御子にし奉り給へり

しかは

三〇ウ⑧ よみ給へりし

三一オ⑦ かきなし給へるも

三一ウ⑩ かへりことし給へり

三二オ① 忍ひ給へりしも

ため(為) 八オ*⑥・二二ウ*⑧・三六ウ

ためかぬのきみ(為兼君) 二二オ①

ためし(例) 一ウ⑧・二九ウ⑦・三五オ

*⑦・三六ウ*⑦

ためのり(為教) 二二ウ①

ためもりのきみ(為守君) 三三ウ⑦

たもつ(動四)

一 づ 困二八オ⑨ さすかにたもつ御法

のしるし

たゆ(絶)(動下二)

一 へ 困三三オ③ 時雨もたえす

二〇ウ⑤ 松風たえす

一 へ 困一七オ⑦ いつの年よりか絶し

と

三二オ⑦ 音つれもたえて

三六オ*⑥ かちを絶たるふね

cf おもひ

たより(便) 二二オ①・二〇ウ⑦・二三

オ④・二四オ④・二五ウ⑧・二八オ

*⑦・二八ウ⑩・三一ウ⑩

たれ(誰) 三ウ*⑦・二二オ*③・一四オ

*⑦・二八ウ*②・三七オ*④

ち

ちいさし(小) → さびさし

ちかし(近)(形)

一 へ 困五ウ⑧・一六ウ⑥・二〇ウ③・

二六ウ③・三三オ*③

ちぎり(契) 二オ⑤・九オ*⑤・二八ウ

*⑨

ちぎりおく(契置)(動四)

一 へ 困三六オ*① ちぎりをくすまと

明石の

ちぎりをく → さびりおく

ちしほ(十入) 一一ウ*⑤

ちち(父) 一七オ③・三〇ウ④・三七ウ

⑧

ちどう(地頭) 三七ウ⑩・三八オ⑨

ちどり(千鳥)

cf はま

ちひさし(形)

一 へ 困三三オ② もしちいさくかへり

ことを

ちゆうじやう(中将)

cf さねかたのーなかのゐんのー

ちゆうしん(忠臣) 一オ⑦

ちゆうなごん(中納言) 三〇ウ④

cf きやうごくのーごんーしんー

ちよく(勅) 一ウ⑨

ちよくせん(勅撰) 二二ウ②

ちり(塵) 三ウ*⑥・一七ウ*②

ちる(散)(動四)

—る 困二七ウ*⑤ いろもひとつにち

る花を

cf みだれ!

つ

ついで(序) 六オ②・二八オ⑦・三一ウ

①

つかはす(遣)(動四)

—し 困三四オ⑤ 人々のもとへつかは

したりし

つかひ(使) 二二ウ⑤・二七オ⑦・三二

オ⑩

つかふ(仕)(動下二)

—へ 困八オ*⑧ 君につかへんため

—へよ 困三五ウ*⑩ 代にもつかへよ

つき(月) 七ウ②⑨・八ウ*②・一四ウ⑥

・二〇オ①・二六オ*②*⑧・二七オ*

①・二七ウ*⑤・三四ウ⑤*⑩

cf ありあけの—・いきよひの—・い

さよふ—

つきかげ(月影) 一六オ⑤・三四ウ*⑦

つきかげのやつ(月影合) 二〇ウ②

つぎのみやこ(月都) 一一二オ*⑨

つく(着)(動四)

—く 困七オ⑤ かゝみといふ所につく

へし

cf ゆき—

つく(附)(動下二)

—け 困二〇ウ⑨ たしかなるひんきに

つけて

cf かき—・しるし—

つく(告)(動下二)

—げ 困二五ウ⑨ つけたる人あれば

—げよ 困一四ウ*⑧ みやこにつけよ

つくづく(副) 四ウ*⑩

つくす(尽)(動四)

cf ころ—

つくる(造)(動四)

—ら 困一七ウ*④ なからの橋をつく

らはや

つけ(黄楊) 一六オ⑥

つけやる(告遣)(動四)

—る 困二八オ⑥ つけやるついでに

つた(薦) 一五ウ*⑧

つたはる(伝)(動四)

—り 困二六オ⑤ たしかなる所よりつ

たはりて

三〇ウ⑥

つたはりてさふらひ

つたふ(伝)(動四)

—ひ 困三六オ*③ つたひし水のみな

かみも

つたふ(伝)(動下二)

—へ 困一八ウ*① つたへし跡も

つたへしる(伝領)(動四)

—ら 困三七ウ⑩ つたへしられけるを

つづき(続) 三六オ*②

cf みね—

つづく(続)(動四)

—く 困三五ウ*⑥ 三代までつづく人

の子に

cf たち—

つづく(続)(動下二)

—け 困三二オ⑥ 文の詞につづけて

cf おもひ—・かき—

つつまし(形)

—く 困二五ウ① つつましくする事

つつま(塊) 九オ⑩・(九ウ*②)

つつまあつむ(包集)(動下二)

—め 困二四ウ⑤ いさゝかつつまあつ

めて

つつむ(包)《動四》

—み囲三二オ① あなちにつゝみ給

しかと

つな(綱)

cf ままぎの—

つひに《副》 四オ*⑦

つもる(積)《動四》

—り囲三三オ② おほくつもりたり

つゆ(露) 二二ウ⑨*・三二オ*⑤

つゆけし《形》

—き囲三三オ*⑥ 袖を露けき

つら(面)

cf うみ—

つらし《形》

—き囲三六ウ*⑦ つらきためしとな

りぬ

—けれ口二九ウ*⑥ 身こそつらけれ

つらぬ(連)《動下二》

cf おもひ—

つりぶね(釣舟) 二二オ⑥

つる(鶴) 三一オ*④・三六オ*⑦

つるがをかべ(鶴岡辺) 三七ウ*②

つれなし《形》

—く囲二オ⑩ つれなくけふまでなか

らふらん

六ウ⑥ つれなくふりすてつ

—き囲一一ウ① 風につれなきところ

つるに → つひに

て

て

て(手) 八オ*④

ていか(定家) 三三ウ②

てこし(手越) 一五ウ⑩

てならひ(手習) 四ウ⑤・五ウ③・二六

ウ①

—ども 五オ④

てら(寺)

cf みる—・やま—

てん(点) 三三ウ⑨

てんあふ(点合)《動四》

—ひ囲三二ウ⑥ 十八首にてんあひぬ

るも

てんりうのわたり(天竜渡) → てんり

ゆうのわたり

てんりゆうのわたり(天竜渡) 一三ウ⑧

と

と(戸)

cf たにの—

とが(答) 三五ウ*⑩

とき(時) 一ウ④・三五ウ*③

ときはぎ(常磐木)

—ども 一一ウ②

とく(解)《動下二》

—け困九オ*⑥ とげぬうらみ

とこ(床) 三二オ*④

ところ(所) 六ウ⑥⑩・七オ⑤⑦・七ウ

⑧・八ウ⑤・一一ウ⑩・一二オ⑥・

一三オ⑨⑩・一三ウ①・一四オ⑤・

一四ウ③・一五ウ④⑩・一六オ⑥・

一七ウ⑥・一八オ⑥・一九ウ②⑧・

二〇ウ②・二六オ⑤・二六ウ③・三

〇②・三三オ⑨・三七ウ⑦⑩

cf ひと—

ところどころ(所々) 一一ウ①・二五ウ

⑨

とし(年) 一六ウ*③・一七オ⑦・二三

ウ⑨・二五ウ③・二八ウ*⑤・三〇

ウ⑤

とし(疾)(形)

―く 困四オ⑥ かへりこといとくお

り

二八ウ④ かへりことくし給

へり

としなり(俊成) ―しゆんぜい

としつき(年月) 二オ⑨

とどこほりなし(形)

―く 困三七ウ*① とどこほりなくわ

かかたへ

とどまりがたし(形)

―し 困一九オ③ 人のあしもとどまり

かたし

とどまる(留・止)(動四)

―ら 困一オ④ 八橋にとどまらんと

―り 困七オ⑦ …といふ所にとどまり

ぬ

一二オ⑥ いふ所にとどまりぬ

一六ウ⑥ 海ちかき里にとどま

りぬ

―る 困三オ⑥ とどまるへきにもあら

て

七ウ⑧ といふ所にとどまる

八ウ⑤ といふ所にとどまる

一三オ⑨ といふ所にとどまる

一四オ⑤ いふ所にとどまる

一四ウ③ といふ所にとどまる

一五ウ⑩ といふ所にとどまる

一八オ⑦ といふ所にとどまる

一九ウ⑧ といふ所にとどまる

とどむ(止)(動下二)

―め 困六オ*⑨ おもひをくくろと

ぬめは

三八オ⑨ みなとどめられて

cf かき―・かけ―・せき―

とどめおく(留置)(動四)

―く 困三ウ*⑥ とどめをくふるき枕

とどめをく ―とどめおく

となり(隣) 一六ウ⑥・二五ウ⑤

とのまく(地名) 一四オ⑨

とびかふ(飛交)(動四)

―ひ 困一三オ⑤ おほく飛かひて

とびわかる(飛別)(動下二)

―れ 困三二オ*④ つるのとびわかれ

ならはぬ旅の

三二オ*⑨ とびわかれても

とぶ(周・訪)(動四)

―は 困二七ウ*⑧ 花を人やとはまし

―ふ 困二オ⑦ 跡とふ法の灯も

一三ウ*⑥ むかしをそとふ

―へ 困九オ③ 人にとへは

一四ウ④ 人にとへは

一七オ⑧ とへは

一九オ⑦ いかにとへは

一九ウ③ いつことかいふとと

へは

―へ 困二オ⑤ 後の世をとへとて

三七オ*② いさゝかかけてと

へ

cf こと―

とほざかりはつ(遠果)(動下二)

―て 困二五オ④ とをさかりはて、

とほし(遠)(形)

―く 困四ウ*⑥ 行きき遠くしたはれ

て

五オ*① 道とをく共

一〇ウ⑩ 山も野もいとくをく

て

二〇オ⑨ 都遠くへたゞりはて

ぬる

―し 困一八ウ⑨ みちとをしとて

一九ウ② とまるへき所とをし

三二ウ*⑤ みやこまでかたる

もとをし

一き困七オ*④ 行ききとをき野路の

しの原

一一オ⑨ 山もと遠きはら野

一五ウ*⑦ 夢にもとをき都

一けれ四三二オ*② 草の枕はとをけ

れと

とほつあふみ(遠江) 一四オ④

とほつあふみのくに(遠江国) 一七オ⑤

とまる(止)(動四)

一る四一九ウ① とまるへき所とをし

とむ(留)(動下二)

一め困三五ウ*⑥ それか中にも名をとめて

cf あとー・せきー

とも(供) 一二ウ①

とも(友) 二八ウ*⑧・三四ウ⑨

ども(接尾)

cf あまー・うたー・こー・ことー・

なつしー・てならひー・とぎはぎ

ー・ふみー・ふるほぐー・をのこご

ともしび(灯) 二オ⑦

ともに(連語)

三オ④ 涙とともにみたれちり

とり(鳥) 一〇ウ⑥・一二ウ⑩・一三オ①⑤

①⑤

cf しまつー・はまちー・みやこ

とりあつむ(集)(動下二)

一め困三二ウ② 文ともとりあつめて

とりいづ(取出)(動下二)

一で困一〇オ① 硯とりいて、

とりわき(副) 三五ウ*⑦

とをかあまり(二)のか ー↓じふくにち

とをかあまりなぬか ー↓じふしちにち

とをかあまりやうか ー↓じふはちにち

とをざかりはつ(遠果) ー↓とほざかり

はつ

とをし(遠) ー↓とほし

とをつあふみ(遠江) ー↓とほつあふみ

とをつあふみのくに(遠江国) ー↓とほ

つあふみのくに

な

な(名) 一オ②・九ウ*⑦・一三オ①⑤

一九ウ*⑤・三五ウ*⑥

御一 二二ウ②

なか(中) 一オ①・三ウ①・二四オ⑤・

二五ウ⑩・三二ウ⑦・三五ウ*⑥

cf よのー

ながし(長)(形)

一かれ困三七ウ*⑤ なか、れとあさ

夕いのる

ながす(流)(動四)

一す困一九オ⑧ 浦へいたさんとてな

かす也

なかぞら(中空) 三六ウ*②

なかだち(媒) 一ウ⑥

なかなか(副) 二五オ*⑩

なかのいんのちゆうじやう(中院中将)

ー↓なかのいんのちゆうじやう

なかのいんのちゆうじやう(中院中将)

二五オ②

ながむ(動下二)

一め困四ウ*⑦ そなたの空をなかめ

一め困四ウ*⑩ 空ななかめそ

二六ウ*⑩ はれくもりなかめ

てわたる

一むる困二三オ① なかむる空

ながめ(眺) 二三ウ*⑧・二五ウ④・二

七ウ*④・三五オ*①

ながめあかす(眺明)(動四)

―し 困三四ウ⑤ 月をのみなめ明し

て

ながらのはし(長柄橋) 一七ウ*④

ながらふ(流)(動下二)

―ふ 困二ウ① けふまでなからふらん

ながる(流)(動下二)

―る 困一九オ⑥ 木のおほくなる

ゝを

一九オ*⑩ しほ木なかるゝ

はや川

ながれ(流) 二オ⑥・三七オ*⑨

なぎさ(渚) 一九ウ*⑥・二〇オ⑤

なく(泣)(動四)

―か 困三三ウ*⑥ ねこそなかる

―く 困三三オ*⑩ 草の枕にわれそな

く

なく(鳴)(動四)

―か 困三〇オ⑨ なかすはよし

―き 困一〇ウ*③ はま千鳥なきてそ

さそふ

三〇オ② あまた声なきけるを

―く 困三一オ*⑤ 旅のそらに鳴らん

なくさのはま(名草浜) 二六ウ④

なくさむ(慰)(動下二)

なくさ(二六ウ④) なくさの浜ならね

は

―む 困五オ② かへりこんとそなく

さむる

なくさめかぬ(慰兼)(動下二)

―ね 困三オ⑩ なくさめかねたる中に

も

なくなく(泣々) 一六オ④・三六オ*⑦

なげき(歎) 三六ウ*⑦

なごり(名残) 四ウ④・三二ウ*⑥

なごりなし(形)

―く 困二八オ④ なごりなくおちたる

なさけ(情) 一オ⑦・三五オ*⑨・三七

オ*⑦

なし(形)

な―み 一三ウ*⑥ みし人なみにむ

かしをそとふ

―く 困九ウ*⑦ ふたつなくみつなき

法

一〇オ⑩ さはりなくひかたを

行

二六オ⑩ ままゝ、事なく歌を

よみ

三四ウ③ 歌よむ友もなくて

三六オ*⑥ よるかたもなくわ

ひはつる

―し 困五ウ⑦ 女子はあまたもなし

一四オ① さし帰るひまもなし

一五オ④ わつらひなし

一七オ⑧ こたふる人たになし

一九ウ④ しりたる人もなし

三〇オ⑥ 其かひもなし

―き 困九ウ*⑧ ふたつなくみつなき

法

一六オ② 人のなきやとも有け

り

二六ウ④ 猶なき心ちして

cf あと―うつつとも―おほつか

―かくれ―かひ―さため―

・そこはかと―つれ―とことこ

ほり―なごり―なんと―の

こり―ひま―へだて―ほい

―ほど―ま―やむごと―

やらむかた―やるかた―ゆく

り―ゆくりも―ゆゑ―よう

―をさ―

なしはつ(為果)(動下二)

―て困二ウ⑦ ようなきものになしは

つゝ

なす(為)(動四)

―し困一七ウ*③ たかき山となしけ

ん

一九オ*② よそになしぬる

cf かき―

なつ(夏) 八オ②・二九オ①*④・三二

オ⑥

なつかし(形)

―し困九ウ*⑦ 一のみや名さへなつ

かし

―き困三四ウ*⑥ 東路の空なつかし

きかたみに

三五オ*① そらなつかしきお

なしなかめは

なつころも(夏衣) 二九オ*⑤

なでしこ(撫子) 六オ*⑥

cf やまと―

など(副)

↑―や↓ 二三三ウ③

なに(何) 一二オ①・二四オ*②

なにがし(身果) 一五ウ⑩

なにごと(何事) 二三オ⑥

なにとして(連語) 二オ⑩

なにとなし(形)

―く困三オ⑦ 何となくいそきたちぬ

なる(名色)(動四)

―ら困三〇オ*⑤ いつかなのらん

なびきはつ(靡果)(動下二)

―て困一七オ*⑨ たか方になびきは

てゝか

なびく(靡)(動四)

―く困三五オ*⑩ おに神までもなび

くなり

なほ(猶) 一オ⑩・一ウ⑩・二ウ③④・

七オ⑦*⑨・八オ③・一一オ*③・一

二オ⑤・一八ウ*⑧・一九ウ①・二

〇オ⑨・二六ウ④・三一オ*⑩・三

四オ*⑦・三七ウ*④

なほざりなり(形動)

なほざり(開陰) 一六オ*⑨ なをさりの

みるめ

―なら困三二オ⑦ なをさりならずお

ほゆ

なほす(直)(動四)

cf ひき―

なまぐさし(形)

―し困一六ウ⑧ よるの宿なまぐさし

と

なみ(浪) 一二ウ⑥*⑧*⑨・一三オ*⑧・

(二)三ウ*⑥・一六ウ①*④⑩・二〇

オ⑤*⑧・二〇ウ④・二四ウ*①・二

五オ*⑩・二六オ*③*⑨・二六ウ*⑦

・二七オ*③・二七ウ*②・三五ウ*①

cf あるいは―うき―しがのうら

―よこ―

なみ(無) ―なし

なみかせ(波風) 二四オ⑧

なみだ(涙) 三オ③・五オ*⑥⑧・一五

ウ*⑨・二二オ①・二二ウ*⑦・二

四オ*⑩・二四ウ*⑩・二五オ⑦・三

四ウ*⑦

なみのうへ(地名) 一七ウ⑥

なみま(浪間) 二〇オ*③

ならず(鳴)(動四)

―さ困三五ウ*② 枝もならずさふる

雨も

ならひ(習) 三〇オ⑧

ならふ(習)(動四)

―は困一七オ*① ならはすよよそに

聞こし清見かた
ならはぬ旅のそら
三一オ*⑤

ならぶ(並)(動下二)

一べ 困九オ*⑦ 舟をならへて

なりゆく(成行)(動四)

一く 困二三ウ⑥ これより雪に成ゆく

と

一く 困二三オ*② 雲井そ雪に成ゆく

なる(成)(動四)

一ら 困四オ*⑦ よもあたにはならし

一り 困一ウ⑥ なかたちと成にける

九オ② 雨はふらすなりぬ

一一オ⑤ みえずなりぬ

一一オ⑩ ひるつかたになりて

一四オ⑨ ひるに成て

一七ウ*⑤ けふりもたゝすな

りなは

二〇オ⑥ 見えずなりぬ

二五ウ④ 春にも成にけり

二七ウ⑩ 二たひに成ぬ

二八ウ*⑧ 身にそふ友と成に

けり

二九ウ⑩ 卯月のすゑに成にけ

れと

おかしく成にけり
秋に成ては
三二ウ⑤
三四ウ④

よろつの情になり
三三オ*⑨
ければ

春になりけり
三六ウ*①

いかさまにかはな
三六ウ*④

りぬらん

つらきためしとな
三六ウ*⑧

りぬへし

跡なくなりぬとか
三七オ*③

見えずなるらん
一七オ*⑩

三たひになるへき晝
二八オ②

おもふことなる
一〇オ*②

みかた

いかになるみの浦
一七オ④

cf おもひー

なる(馴)(動下二)

なれぬ枕の浪のよ
一れ 困二六オ*⑨

るく

なれしさとのおま
一れ 困二四ウ*⑦

人

cf おもひー・まっしー・みー

なるみがた(鳴海瀉) 一〇オ*②*④*⑥

なるみのうら(鳴海浦) 一七オ④

なれく(馴来)(動力変)
なれきつるを
一き 困四ウ③

なを(猶) ーなほ

なをざり ーなほざり

なんとして ーなにとして

なんとなし ーなにとなし

に

にき(日記) ーにつき

にこる(濁)(動四)

一る 困八オ*④ むすふ手にゝこる心
をすゝき

にしき(錦) 一一ウ③*⑥

にじふいちかてう(廿一箇条) 三八オ⑨

にじふいちにち(廿一日) 一一オ⑧

にじふくにち(廿九日) 一九ウ⑩

にじふごにち(廿五日) 一五オ②

にじふさんにち(廿三日) 一三ウ⑧

にじふしちにち(廿七日) 一七ウ⑦

にじふしにち(廿四日) 一四オ⑨

にじふににち(廿二日) 一二オ⑦・二三

オ⑤

にじふはちにち(廿八日) 一八ウ⑤

にじふるくにち(廿六日) 一六オ③

につき(日記) 三四オ④

には(陸) 三オ⑧

にふだう(入道)

cf こーだいなごん・さんみのー
にふだうだいなごん(入道大納言)

cf こー

にほひ(匂) 一六ウ⑦

にようゐん(女院) 五ウ⑧・三〇ウ⑤

にる(似)(動上一)

に困一四ウ② こと山に似す

二九オ⑨

ち ありしにも似ぬこゝ

に困二六ウ*⑨

三六オ*⑥

みやこにゝたる
かちを絶たるふねに
ゝて

ぬ

ぬ(寝)(動下一)

ね困二六オ*⑧ ねられしな

ぬし(主) 一一オ*③

ぬらす(濡)(動四)

一せ困七オ*⑨ 猶袖ぬらせとや

ぬる(濡)(動下一)

一れ困二三ウ*④ 一かたに袖やぬれ

一れ困七オ*③ ますし
ふるざとおもふ袖ぬ
れて

ぬれぎぬ(濡衣) 一六ウ*④

ね

ね(寝)

cf おもひー・たびー

ね(嶺)

cf ふじのー

ね(音) 三三ウ*①*⑥

cf しのびー

ねざめ(寝覚) 一七オ*②

ねなく(音泣)(動四)

一か困二三ウ*⑥ ねこそなかるれ

ねや(園) 三ウ③

の

の(野) 一〇ウ⑩

のまば(軒端) 三六ウ*③

のこす(残)(動四)

一さ困四オ*⑧ みよの跡に残さは

cf かきー

のこりなし(形)

一く困六ウ① 歌のこりなくかきつゝ

け

のこる(残)(動四)

一り困七ウ② 光かすかに残りたる

一る困六オ*⑥ ふる里にのこるなて

しこ

一八オ⑦ いまた夕日残る程

三七オ*⑦ のこる逢とかこち

ける

三七ウ⑦ 残るよもきとかこち

ける

三八オ*⑦ のこるよもきかか

す

のたまふ(動四)

一へ困三三オ⑥ たつねてなどのたま

へり

のち(後) 一七ウ⑧・二三ウ②・三四ウ

③・三五オ②・三八オ⑩

のち(野路) 六ウ⑩・七オ*④

のちのよ(後世) 二オ⑤

のどかなり(形動)

一に困二〇ウ④ のとかにすこくて

のなかのしみづ(野中清水) 三七オ*⑨・

三八オ⑩・三八ウ*③

はまち(浜路) 一九ウ⑩

はまちどり(浜千鳥) 四オ④*⑨・一〇ウ①*③

はまなのはし(浜名橋) 一三オ④

はままつ(浜松) 一三オ⑩・一三ウ*⑤

はや(副) 五オ*①・二九オ*⑤

はやかは(早川) 一九オ⑤*⑩

はやし(早)《形》

—し④一九オ⑥ まことにはやし

はやせ(早瀬) 一四オ*③

はら(腹) 《三五ウ*⑨》

はらふ(掃)《動四》

—は困三ウ*⑦ たれかはらはむ

cf ううち—

はらの(原野) 一一オ⑨

はりま(播磨) 三七オ*⑥

はりまのくに(播磨国) 三七ウ⑨

はる(春) 二五ウ④⑦・二六ウ*⑨・二七オ*①・二七ウ*③・二九オ④*④・二六ウ*①

はる(晴)《動下二》

—れ困二七ウ*④ はれぬころは

—れ園一一オ⑧ いとよくはれたり

二六ウ*⑩ はれくもりなかめ

て

二七オ⑨ 霞晴ぬる心ちして

はるかなり《形動》

—なり④一五オ⑤ いとはるか也

—なる困三二オ① はるかなる旅のそ

ら

はるばると《副》 四ウ*⑥・一一オ*②・一九ウ⑩・二二ウ*⑥

ひ

ひ

ひ(火) 《三四ウ*①》

cf もしほ—

ひ(日) 七オ①・一一オ①・一二オ⑤・一八オ②・一九ウ①・二三オ⑩・二

三ウ*⑥⑩・二四オ*③

cf あさ—・ゆふ—

ひかげ(日影)

cf あさ—

ひかた(干潟) 一〇オ⑩

ひがめ(餅目) 三二ウ⑦

ひかり(光) 七ウ②・二八ウ*⑥・三七ウ*③

ウ*③

ひきなほす(引直)《動四》

—す④三七オ*⑤ たれか引なをすへ

き

ひきなをす— ひきなほす

ひきのやつ(比企谷) 三〇オ②*④

ひきまのしゆく(引馬宿) 一三オ⑨

ひく(引)《動四》

—く困一〇オ*⑤ かたひくしほも

ひごる(日頃) 二七オ⑧・三二ウ①

ひさし(庇)

cf いた—

ひじり(聖) 三五オ*⑦

—たち 一ウ⑦

ひと(人) 一オ②⑥・一ウ③⑧・四ウ②

・六ウ⑩・八ウ⑩・九オ③・一一ウ③・一二ウ①・一三ウ②*⑦⑧・一

四オ①・一五オ⑩・一六オ②*⑩・一六ウ⑧・一七オ⑧・一八オ⑤・一

九オ③・一九ウ④・二〇ウ*①・二〇ウ⑧・二二ウ②③・二二ウ①・二

五オ③④⑥・二五ウ①⑨・二六オ①・二六ウ①・二七ウ*⑧・二九オ①・

二九ウ*①・三〇オ③⑨・三〇ウ⑩

三一オ⑦・三二ウ③*⑧・三三ウ*⑥

・三五オ⑧・三五ウ*⑥・三六ウ*⑩

三七オ*⑦

cf あまー・うらー・かちー・さとー

・たびー・みやこー

ひとかたならず(連語)

— ず 四三二オ⑦ おほつかなさも一か

たならず

— ぬ 四四オ*⑤

四オ*⑩

ひとかたなり(形動)

— に 四三二ウ*④

まし

ひとしげし(形)

— し 四一六オ①

ひとすぢなり(形動)

— に 四三〇オ⑧

ひとつ(一)・一オ⑧・二ウ②・一一ウ⑩

・一三ウ⑩・一五ウ④・二二ウ*⑨

二七ウ*⑤・二八オ③・三七オ*⑨

ひとつて(人伝)

ひとつと(一所)

ひとつと(人々)

ウ①・二三ウ①・二四オ⑦・三二ウ

①・三三ウ④・三四オ⑤

ひとむら(一叢)

ひとめづつみ(人目包)

九ウ*②

ひとやりならず(連語)

— ぬ 四三三オ⑤

ひとり(一人)

〇オ⑥・三四ウ⑤・三八オ*⑥

ひとわき(人別)

ひのもの(のくに(日本))

ひびき(響)

ひほう(非法)

ひほふ(非法)

ひま(隙・暇)

ひませ(日交)

ひまなし(形)

— 一 四二六ウ*⑦

— き 四二二ウ⑩

ひめみや(姫宮)

ひやうぢやう(評定)

ひやうでう(評定)

ひらく(開)

— け 四一ウ④

— 時

— 三 五オ*⑤

— 時

— 時

— 時

— 時

ひらの(平野)

ひる(昼)

ひるつかた(昼)

ひるふ(給)

— 一 四二六ウ③

— 二 七ウ*①

— 二 七ウ*①

— 二 〇ウ⑥

八ウ⑨

一四オ⑨・一六オ⑤

九オ②・一一オ⑨

貝なとひろふおり

しほひにひろふう

つせ貝

たより

二〇ウ⑥

八ウ⑨

一四オ⑨・一六オ⑤

九オ②・一一オ⑨

貝なとひろふおり

しほひにひろふう

つせ貝

たより

二〇ウ⑥

一四ウ① ふかく入まゝに

一し困七ウ⑤ 霧いとふかし

一き困二オ⑤ ふかき契を

九ウ*① ふかき心は

三三オ*⑩ 秋ふかき草の枕

cf よー

ふく(吹)(動四)

一く困三五ウ*① 空ふく風も

ふじ(富士) 一七オ⑥・一七ウ*⑤・三

四オ*⑦・三四ウ*①

ふじがは(富士川) 一七ウ⑧*⑩

ふじのね(富士嶺) 一七オ*⑨・一七ウ

*②

ふじのやま(富士山) 一七オ③

ふす(臥)(動四)

一し困一六オ⑧ 臥なからかきつく

ふたこ糸(二声) 二九ウ*②

ふたたび(二度) 一ウ⑨・二二オ⑩・二

七ウ⑩

ふたつ(二) 九ウ*⑦

ふたむらやま(二村山) 一〇ウ⑩・一一

オ*②

ふたり(二人) 二四ウ⑧

ふぢかは(藤川)

cf せきのー

ふつか(二日) 三二オ⑩ 八月二日

ふて(筆) 一三オ*③・二七オ⑥

ふてのあと(筆跡) 三六ウ*⑨

ふね(舟) 九オ⑦・一三ウ⑧⑩・三六オ

*⑥

cf あまをー・うきー・つりー・もか

りー・をー

ふはのせきや(不破関屋) 八オ⑩・八ウ

*①

ふみ(文) 一オ②・一五ウ③・二三オ⑤

・二四オ*⑩・二四ウ③・二五ウ⑩

二七オ⑨・二九ウ⑧・三一オ⑥・三

四ウ②・三八オ③

一ども 二四オ⑤・三二ウ②

ふもと(麓) 一四ウ③*④・一七ウ*②

一九オ⑤

ふゆ(冬) 一八オ*①

cf みー

ふりくらす(降暮)(動四)

一せ回八ウ④ しくれに過て降くらせ

は

ふりすつ(振捨)(動下二)

一て困四ウ④ ぶり捨られんなこり

一て困六ウ⑥ つれなくふりすてつ

三三ウ*① ぶりすてゝこし

ふりそふ(降添)(動四)

一ふ困二二オ*⑦ 雪そふりそふ

ふりみふらずみ(連語)

三オ② ぶりみふらずみ時雨も

たえす

ふる(降)(動四)

一ら困九オ② 雨はふらすなりぬ

一り困八ウ⑧ 夜もすから降つる雨

一る困二三ウ*⑧ 雪ふる空のなかめ

三五ウ*② 枝もならさずふる

雨も

ふる(触)(動下二)

一れ困三オ④ 事にふれて心ほそく

ふるさと(故郷) 六オ*⑥*⑨・七オ*③

二二オ*③・二四ウ②・二八オ⑥

三四ウ⑧・三六ウ*②

ふるし(古)(形)

一き困三ウ*⑥ ふるまき枕のちり

ふるす(旧)(動四)

cf きぎー

ふるほぐ(古反古)

一ども 二オ②

ふんやのやすひで(文屋康秀) 二ウ⑨

へ

へだたりはつ(隔果)(動下二)

―て困二〇オ⑨ 都遠くへたよりはて

ぬる

へだつ(隔)(動下二)

―て困一〇オ*④ わかの浦風へたて

すは

三二ウ*⑧

心のみへたてすと

へだてなし(形)

―く困二四オ⑥ へたてなく哀にたの

みかはし

へんじ(返事) ―かへりごと

ほ

ほいなし(形)

―う困二二オ⑨ いかゝとほいなう

こそ

ほか(外) 三四ウ*⑩・三五オ*⑩

cf ころより―に

ほぐ(反古)

cf ふる―

ほくゑきやう ―ほげきやう

ほげきやう(法華経) 二八オ③

ほす(十)(動四)

―さ困一八オ*⑤ あま衣ほさぬうら

みと

ほそかは(細川) 二オ⑥

ほそかはやま(細川山) 三六オ*②

ほそし(形)

―き困二〇オ① いとほそき月

cf ころ―

ほど(程) 三オ⑧・五オ*⑦・五ウ⑧・

六ウ⑦・七ウ④・八オ⑦・八ウ⑨・

一〇オ⑩・一二オ⑤・一二ウ⑤・一

三ウ③・一四オ*⑩・一五オ⑨・

一六ウ①・一八オ⑦・二〇ウ⑥・二

一ウ④*⑦・二三オ*②⑧・二三ウ②

*⑨・二四オ⑧・二四ウ⑧・二五ウ

⑧・二六オ⑥・二七オ⑧・二八オ⑧

・三二オ⑥・三四オ④

cf ころ―・さる―に―なし

ほとけ(仏) 二八オ②

ほととぎす(時鳥) 二九オ⑩・二九ウ*①

③*⑤⑩・三〇オ*④⑧

cf やま―

ほどなし(形)

―く困六ウ⑥ 程なくあふ坂のせきこ

ゆる

一六ウ⑤ 程なく暮て

二五ウ③ 程なく年くれて

ほのかなり(形動)

―に困二九ウ⑩ 初音ほのかにもおも

ひたえたり

ほれはつ(惚果)(動下二)

―て困二八オ① ほれはてたる心地

ま

ま(間)

cf ころ―・たえ―・なみ―

まいらす ―まゐらす

まいらせをく ―まゐらせおく

まいり ―まゐり

まいる ―まゐる

まうし(申)

cf まかり―

まうしおく(申置)(動四)

―く困六オ② かねて申をくついでに

まうしなる(申馴)(動下二)

―れ困二二ウ④ あさ夕申なれしかは

まうしなく → まうしおく

まうす(申)(動四)

— さ困二九ウ⑦ 申されたる事

三八オ⑤ 申されける歌

— し困二三オ⑦ こまかに申たく候に

まうす(申)(補助動四)

— し困二〇ウ⑧ ことつけ申たりし人

まがき(籬) 三オ⑨

まかす(任)(動下二)

— せ困二七オ⑥ 筆にまかせて

三七オ⑩ もとのこゝろにまかせつゝ

— す困一〇オ⑥ 神のこゝろにまかすらん

— する困三六ウ② 風にまかするふるさと

まかりまうし(籠申) 二二ウ④

まきらはす(紛)(動四)

— す困五オ⑨ ものいひまきらはすも

まきる(紛)(動下二)

— する困二三オ⑧ まきるゝほとにて

二六オ⑩ まきるゝ事なく

まく(時)(動四)

— き困三五ウ⑨ 種をまきけるとか

とてや

まくら(枕) 三ウ④*⑥・一六オ⑧・一

六ウ⑩・二五オ⑦・二六オ*⑨

cf かりー・くさのー

まこと(真) 一ウ②・三五ウ*⑦

まことし(形)

— き困五ウ⑩ こゝろつかひもまことしきさまに

まことなり(形動)

— に困一九オ⑥ まことにはやし

まさきのつな(柁木綱) 九オ⑧

まさる(動四)

cf あれー・さえー

まして(副) 三オ⑨

まはる(動四)

— ら困五ウ③ 又まはらさらむやは

まじる(動四)

cf たちー

また(又) 一オ⑥⑨・一ウ⑧・四ウ②・

五オ⑤・五ウ③・六ウ*⑨・八ウ⑥・

九ウ⑤・一一ウ*⑤・一二ウ③・二

一オ⑧・二三ウ⑩・二四ウ②・二五

ウ⑧・二七オ⑧・二八ウ⑩・二九オ

⑦・三〇オ⑨・三〇ウ①・三一ウ⑨

・三三オ⑥⑨・三三ウ②・三四オ⑨

・三四ウ②・三五オ③・三七オ*④・

三七ウ*②

まだ(副) 二六オ*③

まちう(待得)(動下二)

— え困二三オ⑤ 文まちえて

三二ウ① つかひまちえ

まちみる(待見)(動上二)

— み困二六オ⑦ 程もへすまち見奉る

まつ(松) 七ウ⑨・二二ウ⑥

まつ(待)(動四)

— ち困一一ウ*⑥ まちけりな

— つ困二九オ*⑥ いまやまつらん

まつ(先) 八オ⑦・一六オ⑤・二三オ⑥

まつかせ(松風) 一四ウ*⑥・二〇ウ⑥

まつりごと(政) 一オ⑦・三六オ*⑨

まなし(間無)(形)

— く困七オ*⑩ まなくしくれのもる

まにまに(随) 一〇オ*③

まねぶ(学)(動四)

— び困一五ウ① 昔をわざとまねひたらん

まはす(廻)(動四)

cf み

まへ(前)

御一 二八オ③

まほる(守)(動四)

一り 困二オ⑦ 道をまほり家をたすけ

む

一れ 困九オ*⑤ まほれたゝ契むすふ

の神ならば

cf まもる

まま(儘) 二四オ⑨・三八オ④

↑に・にて 六ウ③・九オ①・一四

ウ①・二七オ⑥・二九オ*⑧・三〇

ウ⑤・三四ウ④・三五ウ*③

まもり(守) 五ウ*⑥

まもる(守)(動四)

一る 困九ウ*⑧ 法をまもるなるへし

cf まぼる

まよはず(迷)(動四)

一さ 困九オ*⑥ われまよはさて

まよひ(迷) 八オ①

まよひく(迷来)(動力変)

一き 困三一ウ*⑦ 旅ねの夢にまよひ

まよふ(動四)

一は 困四オ*⑨ まよはまし

まりこがは(丸子川) 一九ウ⑦

まれなり(形動)

一に 困三〇オ⑨ まれにもきく人有

一なる 困三〇オ⑧ 時鳥まれなるなら

ひ

まゐらす(参)(動下二)

一せ 困三八オ② まいらせられける文

まゐらす(参)(補助動下二)

一せ 困二三オ④ 心にかけまいらせつ

るを

まゐらせおく(参置)(動四)

一き 困三〇ウ④ 中納言のまいらせを

き給へる

まゐり(参)(名)

御一 二三オ⑩

まゐる(参)(動四)

一り 困九ウ⑩ あつたの宮へまいりて

二二ウ⑤ 北白河とのへまいり

しかと

一る 困一八オ⑧ 三嶋の明神へ参ると

て

み

み(身) 一オ⑧・二ウ②⑦・九ウ*④・

一二オ*⑩・二六オ*⑧・二八ウ*⑧・

二九ウ*⑥・三六オ*①*⑧・三七オ

*⑤

み(御)(接頭)

cf おん・一きやう(経)・一こ(子)・

一のり(法)・一よ

み(接尾)

cf ふりーふらずー

み(接尾)(形容詞語幹接続)

cf なー

みくしげどの(御匣殿)

cf しきかむもんゐんのー

みこ(御子) ーとこ

みこと(御言) 三五ウ*③

みしまのかみ(三島神) 一八オ*⑨

みしまのみやうじん(三島明神) 一八オ

⑦

みしる(見知)(動四)

一り 困一五オ⑨ あさりの見しりたる

みす(見)(動下二)

一せ 困二〇オ*⑦ こき行かたを見せ

しとや

みたび(三度) 二二才⑩・二八才②

みたり(三人) 二才①

みだりがはし(形)

—き⑩三七才*② みたりかはします

ゑの世

みだれちる(乱散)(動四)

—り⑩三才④ 涙とともにみたれちり

つゝ

みち(道) 一ウ②⑦・二才④⑦・二ウ③

・三才⑤・五才*①・五ウ②・八ウ④

⑨・九才②・九ウ⑩・一二ウ*③・

一四才⑩・一五ウ③・一八ウ⑨・二

一ウ④・三六ウ*⑤

cf しきしまの—

みちのおく(陸奥国) 三〇才⑦

みちのくに(陸奥国) 二九ウ④

みつ(三) 九ウ*⑧

みつ(溝)(動四)

—つ⑩一〇才*⑥ みつしほのさして

そきつゝる

みつ(水) 八才②*⑤・一三才⑤・一四

才*②・一五才*①③⑤・一九才*⑩・

三六才*③

みつく(見付)(動下二)

—け⑩(一四才*⑦) たれかきてみつ

けの里と

みつぐきの(水葦)(枕詞) 一才④

みつげのさと(見附里) 一四才④*⑦

みつた(水田) 八ウ⑩

みつのも(水井) 一四才⑥

みな(皆) 七ウ*⑥・三八才⑨

みなかみ(水上) 三六才*④

みなと(湊)

cf そでの—

みなる(水馴)(動下二)

—れ⑩(二三才*⑧) 波のかけこす袖

に見なれて

みなる(見馴)(動下二)

—れ⑩(一三才*⑧) 波のかけこす袖

に見なれて

みね(峯) 七ウ⑨

みねどの(峯殿) 二三才⑩

みねつづぎ(連峯) 一四ウ②

みの(蓑) 八ウ*⑥

みのうへ(身上) 一才③

みののくに(美濃国) 八才⑥

みふゆ(三冬) 三才①

みまはす(見廻)(動四)

—さ⑩三才⑨ ましてと見まはされて

みや(宮)

cf あつたの—いちの—ひめ—

みやうじん(明神)

cf みしまの—

みやこ(都) 一四ウ*⑧・一五才*⑦・一

五ウ*⑦・二〇才⑨・二〇ウ⑤・二

一才⑤・二四才⑥・二五才⑦・二五

ウ⑧・二六才*②*⑧・二六ウ*⑥*⑨

・二七ウ*⑧・二八才⑤・二九ウ*⑤

・三一ウ*⑤・三二才⑧・三四ウ*⑩

・三五才②・三六才*⑦

cf つぎの—

みやこどり(都鳥) 一〇ウ⑥*⑨

みやこびと(都人) 二七才*④・二九才

*⑤

みやぢのやま(宮路山) 一一ウ④

みやぢやま(宮路山) 一一ウ*⑧

みやのおんかた(宮御方) 六才①

みやばしら(宮柱) 一八才*⑨

みよ(三代) 四才*⑧・三五ウ*⑥

みよ(御代・御世) —>よ

みゆ(見)(動下二)

一え困七オ① 人もみえす

一オ⑤ はしもみえすなりぬ

一七オ*⑩ すゑも見えすなる

らん

二〇オ⑥ つり舟見えすなりぬ

二二ウ⑤ みえさせ給はさりし

かは

三一ウ② 夢に見えさせ給ふよ

し

三一ウ*⑧ みえぬ人のおもか

け

一え困七ウ⑩ けちめみえて

一七オ⑦ たしかにみえし物を

一ゆ困二二オ② かくてすむらんとみ

ゆ

三四オ④ よみたりけりと見ゆ

一ゆる困一一ウ⑩ かや屋の一見ゆる

一二ウ⑤ 海見ゆる程

一六ウ② やうにみゆるいとお

かし

一ゆれ回一六オ⑦ 碗もみゆれは

みゆき(行幸) ↓ぎやうかう

みる(見)(動上一)

み困五オ③ いてたち見むとて

二八ウ*② たれかは見まし

三三ウ*⑤ これを見はいかはか

りかと

三八ウ*③ 影をたに見し

み困四オ⑥ 是を見て

五オ⑤ 手習ともを見て

一一ウ⑦ 昔見し心ちする

一三ウ③ めくりあひて見つる命

一三ウ*⑥ みし人なみに

一三ウ⑦ 見し人の子

一七オ⑤ 国までは見しかは

一八オ③ いさりするをみても

(一八オ*⑨) あはれとやみしま

一の神

二三ウ① もみち見にとて

二七ウ*⑦ さくらを見ても

二九オ*③ 見し世こそ

二九オ*⑧ こそみしまゝに

三二ウ② とりあつて見つる

三四オ*⑦ ふしの煙を見ても

三四ウ*① ふしのけふりとそみ

三四ウ*⑩ 月見ても

みる困三ウ④ かはらぬをみるも

九ウ*③ ゆきとみるもはか

なし

一〇オ*⑦ あはれとみるめた

つねて

一一ウ③ あをちの錦をみる心

ちす

一六オ*⑨ なをさりのみるめ

はかり

二四ウ⑩ 玉つさをみるに

三二ウ⑩ 歌を見るに

みれ回三ウ③ ねやのうち見れは

四ウ⑥ 手習したるを見れは

一四ウ⑥ あかつきおきてみれ

は

一七オ③ ふしの山をみれは

二四ウ⑨ かへりいと哀にてみ

れは

みよ困四オ*③ むかしのかたみとは

(四オ*⑧) 見よ

一四オ*② 残さは

うき世にわたる程

cf くらべー・まちー

をみよ

みるめ(海松布) (一〇オ*⑦)・(一六オ

*⑧)

みわたす(見渡)(動四)

—さ困一九ウ② 大しまゝて見わたさ

るゝ

—せ困一三オ④ はしより見わたせば

—九オ*⑨ ゆ坂をこえて見わ

たせば

みるでら(三井寺) 三二オ⑧

みんぶきやうのすけ(民部卿典侍) 三〇

ウ⑧

む

むかし(昔) 一オ①・三ウ④・四オ*③・

四ウ②・一ウ⑦*⑥・一三ウ*⑥⑨

・一五ウ①・一七オ③・二〇ウ*①・

二五ウ⑧・三〇オ⑦・三一ウ*⑥・

三三ウ④・三五オ*⑤・三八オ①

むかふ(向)(動四)

—ひ困一オ⑩ 山にむかひて行

むさしのぜんじどの(武蔵前司殿) 三八

オ①

むすびおく(結置)(動四)

—か困二オ⑤ 契をむすびをかれし

—き困一六オ*⑩ むすひおきつと人

にかたるな

むすびをく —むすびおく

むすぶ(結)(動四)

—ぶ困(九オ*⑤)

契むすぶの神なら

むすぶ(掬)(動四)

—ぶ困八オ*④

むすぶのかみ(産霊神) 九オ③*⑤

むすめ(女) 三〇ウ③・三七ウ⑧

御—二二ウ①・二二オ⑨

むつかし(形)

—き困一六ウ⑦ むつかしきにほひな

れは

むまご(孫) —うまご

むまや(駅) —うまや

むまる(生)(動下二) —うまる

むれゐる(群居)(動上一)

—る困二二ウ⑩ 鳥のむれゐたるは

め

め(目) 一〇オ⑦・一六オ*⑨・一七ウ

⑦

め(海布) 二四ウ*⑥・二五オ⑤*⑨

めかれ(目離) 三オ⑦

めぐりあふ(動四)

—ひ困一三ウ③ めくりあひて見つる

命

—ふ困二一ウ*⑨ 時雨のめぐりあふ

世を

二一オ*⑨ めくりあふ末

めぐりく(廻来)(動力変)

—き困一八オ*⑩ めくりきにけり

めづらかなり(形動)

—に困一五ウ② めづらかにおかしく

も哀にも

めづらし(形)

—く困二三オ⑥ 文まちえてめづらし

く

めにたつ(自立)(動四)

—つ困九オ③ 目に立つ社あり

も

もかりぶね(藻刈舟) 三〇ウ⑦

もじ(文字) 三三オ②

もしほぎ(藻塩木) 一九オ⑦

cf しほぎ

もしほぐさ(藻塩草) 四オ*②*⑦・三五

ウ[※]④

もしほび(薬塩火) 二八ウ*⑥

もつ(持)(動四)

一ち[※]三[※]五ウ*⑧ まことをはもちな

から

cf あじかりー

もと(許)下(一) 三二ウ③・三三ウ⑧・三

四オ⑤

御ー 二〇ウ⑧・二六オ①・二八オ⑦

・二九オ①

もと(元) 三七オ[※]⑩・三八ウ*②

もとむ(求)(動下二)

一むる[※]困三オ① すむへき[※]困もとむる

にも

もとめいづ(求出)(動下二)

一で[※]困一オ① 壁の中よりもとめいて

たりげん

もとより(副) 三〇オ⑥

もの(物)者(一)オ⑤⑧・一ウ⑥・二ウ

⑦・四ウ⑧・二二オ⑤

ものいふ(動四)

一ひ[※]五オ⑨ ものいひまきらはすも

ものおそろし(形)

一し[※]四一四オ⑥ 里あれて物おそろし

ものがなし(形)

一し[※]四七オ① いと物かなしとおもふ

に

ものこころほそし(形)

一[※]二[※]オ⑧ いろいろも物かなし

一し[※]四五オ④ 物心ほそしとおもひた

ものさはがし ーものさはがし

ものさわがし(形)

一[※]く[※]二[※]ウ⑥ ものさはかしくて

もみぢ(紅葉) 一一オ⑩・一一ウ*⑥・

二三オ⑩

ももち(百千) 二オ②

もり(森)

cf ただすのー

もりやま(守山) 七オ⑥・七ウ③

cf もるやま

もる(漏)(動四)

一[※]る[※]山八ウ*② いかにもるらん

一[※]る[※]困(七オ*⑩)⑩ しくれのもる山に

しも

もる(漏)(動下二)

一[※]れ[※]困一オ⑦ 政にももれ

もるやま(守山) 七オ*⑩

cf もりやま

もるともに(副) 二オ⑧・七ウ*⑥・二

五オ*⑨

や

やう(様)

一[※]なり[※]く 二七オ⑦ かきさすやうな

りし

一[※]に[※]く 一六ウ② 打きするやうにみ

ゆる

三二オ⑥ 歌のやうにもあら

す

やく(焼)(動四)

cf しほー

やさし(形)

一[※]く[※]困一五ウ② やさしくもおほゆ

二二オ⑦ いとやさしくあはれ

にて

二五オ⑧ やさしくかきて

二九ウ⑧ やさしくなとかきて

三四オ① やさしくおほゆるも

三三オ*⑩

やし(八島)

やし(社) 九オ③・九ウ⑤・一四オ⑩

やす(野洲) 七ウ*⑦

やすかは(野洲川) 七ウ③

やすし(形)

—く困二ウ② やすく思捨れとも

やすむ(休)(動四)

—ま困二二ウ*⑨ 浪はやすまで

やすむ(休)(動下二)

—め困一四オ*⑤ を舟さほもやすめ

す

やちよ(八千代) 三七ウ*③

やつ(谷)

cf つきかげの—・ひきの—

やつはし(八橋) 一一オ④*⑥⑧

やど(宿) 八ウ*⑦・二二オ*③・一六オ②③・一六ウ⑧・一九ウ*⑥

やどる(動四)

—り困七オ*⑨ 袖ぬらせとやとり

けん

—七ウ⑥ やとりて

やはらかなり(形動)

—に困三五ウ*② 空ふく風もやはら

かに

やはらく(動下二)

—ぐる困一ウ⑥ やはらくるなかつち

やま(山) 五オ②・七ウ⑨・一〇ウ⑩・

一一オ⑩・一一ウ⑦⑩・二二オ*③・

一七ウ*③・一八ウ*④・一九オ③・

三二オ⑧

cf あしがら—・あしがらの—・うつ

の—・こと—・さやのなか—・さ

よのなか—・たかしの—・ほこねの

—・ふじの—・ふたむら—・ほそか

は—・みやち—・みやちの—

やまかげ(山陰) 一四ウ①

やまかぜ(山風)

cf いそ—・うら—

やまでら(山寺) 二〇ウ④

やまち(山路) 二二ウ*⑩・三二ウ*⑨

やまと(た) (和歌) 一ウ①

やまとことば(大和言葉) 三七ウ*⑥

やまとなでし(大和撫子) 六オ*⑩

やまとのくに(大和国) 三五オ*④

やまぶし(山伏) 五オ⑩・一五オ⑩・二〇ウ⑦

やまほととぎす(山郭公) 二九オ*⑥

やまもと(山本) 一一オ⑨・二〇ウ③

やみ(闇)

cf こころの—・ゆふ—

やむ(ことなし)(形)

—き困一五ウ④ やむことなき所

やよひ(弥生)

二七ウ⑨ やよひのすゑつかた

やよや(感) 三七オ*①

やらむかたなし(形)

—く困二ウ④ 根はやらん方なく

やる(遣)(動四)

—る困三三オ③ かへりことをそかき

そへてやる

—れ困二一ウ*⑥ おもひこそやれ

cf おもひ—・かき—・こころを—

つげ—

やるかたなし(形)

—く困一オ⑩ やるかたなくかなしけ

れ

ゆ

ゆかしさ(名) 一九オ*①

ゆがむ(歪)(動四)

—め困三七オ*④ ゆかめることも

ゆき(雪) 一七ウ*③*⑩・二二オ*④*⑦

・二二ウ⑩・二二三オ②・二二三ウ⑥

*⑧

ゆきあふ(行合)(動四)

一ひ圃一五オ⑩ 山ふし行あひたり

二〇ウ⑥ 行あひたりし山ふし

ゆきき(往来) 九ウ*③・一四オ①

ゆきすく(行過)(動上二)

一き圃一オ*② 二むら山を行すき

て

ゆきつく(行着)(動四)

一か圃七オ⑥ 暮はてゝ行つかす

ゆく(行)(動四)

一き圃五オ*⑦ こゝろのゆきて

三三オ*⑤ ゆきてはかへる

一く圃七ウ③ もり山をいてゝゆく

八ウ⑧ こゝをいてゝゆく

九ウ⑨ むまやをゆく

一〇ウ① さはりなくひかたを

行

一ウ① 山にむかひて行

一一オ⑧ いてゝゆく

二〇オ① 浜路をはるゝとゆ

く

一く圃六ウ*⑨ たのめてそゆく

七ウ④ さきたちて行旅人

一〇ウ② さきたちてゆくも

一〇ウ⑩ 二むら山をこえて行

に

一一オ⑧ 八はしをいてゝゆく

に

二〇オ*③ 浦路ゆくこゝろほ

そそ

cf こぎー・こころー・すぎー・なり

一・わけー・わたりー

ゆくさき(行先) 四ウ*⑥・六ウ⑩・七

オ*④・一〇オ*⑨・三六ウ*⑧

ゆくへ(行方) 三六ウ*①

ゆくりなし(形)

一く圃二オ*③ ゆくりなくあくか

れ出し

二一オ*⑨ ゆくりなく空にう

かれし

ゆくりもなし(形)

一く圃二ウ⑧ ゆくりもなく…さそは

れ出なんと

ゆく系(行方) ↓ゆくへ

ゆさか(湯坂) 一九オ④*⑨・一九ウ①

ゆづり(譲)(名) 三七ウ⑨

ゆづる(譲)(動四)

一り圃三五ウ*⑦ ゆつりてし其まこ

とをほ

ゆふぐれ(夕暮) 八ウ*⑥・一一オ*⑦

ゆふしで(木綿垂) 三七オ*①

ゆふひ(夕日) 一八オ⑦

ゆふやみ(夕闇) 一一オ*③・一四ウ*④

ゆへ(故) ↓ゆゑ

ゆへなし ↓ゆゑなし

ゆめ(夢) 一オ②・八オ*⑤・一五オ⑩・

一五ウ*⑦・二〇オ⑨・三一ウ②*⑥

*⑦・三二オ*③

ゆゑ(故) 二一ウ③・三一オ*⑨

ゆゑなし(形)

一く圃二オ⑥ ゆへなくせきとゝめら

れ

よ

よ(世・代) 一オ②⑦・一ウ⑤・一一ウ

*⑨・二三ウ⑦・一七ウ*②・二〇ウ

*①・二五オ④・二七ウ*②・二九オ

*③・三五オ*⑦・三五ウ*⑩*⑩・三

六オ*⑨・三六ウ*⑦・三七オ*⑥・

三七ウ*③*⑤

cf うきー・かりのー・すゑのーの

ちのー

よ(夜) 七ウ①⑧・二七オ*①

cf よる

ようなし(形)

—き困二ウ⑦ 身をようなきものに

よく(避)(動上二)

—き困九ウ⑩ よきぬ道なれば

よこぐも(横雲) 一八ウ*⑧

よこなみ(横浪) 四オ*④

よし(由) 六オ③・二二ウ④・三一ウ③

よし(形)

—く困二一オ⑧ いとよくはれたり

—し困三〇オ⑨ なかすはよし

よす(寄)(動下二)

—する困一九ウ*⑥ しら浪のよする

なきま

よせかへる(寄返)(動四)

—る困二〇オ⑤ なきまによせかへる

なみ

よそなり(形動)

—なら困一三オ*⑦ 洲崎の岩もよそ

ならす

—に困一七オ*① よそに聞こし清見

かた

—九オ*② よそになしぬる

よつのうみ(四海) 三五オ*⑩

よとせ(四年) 三六ウ*①

よどむ(淀)(動四)

—む困三七オ*⑩ 野中の清水よどむ

とも

よなよな(夜々) 三三オ*⑦

よのなか(世中) 一〇ウ*③

よひいづ(呼出)(動下二)

—で困一三ウ⑦ よひいてゝあひしら

ふ

よぶかし(形)

—かり困一八ウ⑥ 夜ふかゝりければ

—き困七ウ⑩ 夜ふかき霧のまよひ

—二オ⑦ 夜ふかきあり明の影

よむ(読)(動四)

—み困二八オ④ ほくゑきやうをよみ

つ

よむ(詠)(動四)

—ま困三三オ① よまれたるにこそ

—三四オ⑤ よまれたりけるなめ

り

—三八オ⑧ とよまれて候ければ

—三八ウ④ とよまれて候も

—み困一七オ⑤ 浦なればなとよみし

比

一八オ⑧ よみてたてまつる

二六ウ① 歌をよみ給ふ人

三〇ウ⑧ 藻かり舟なとよみ給へり

へり

三〇ウ⑩ あやしき歌よみて

三二ウ③ 歌をよみたりけると

て

三四オ③ 思ひてよみたりけり

—む困二二ウ① 歌よむ人にて

三四ウ③ 歌よむ友もなくて

よも(四方) 一ウ④

よも(副) 四オ*⑦・二〇オ*⑩

よもぎ(蓬) 三七オ*⑦・三七ウ⑦・三八オ④*⑦

八オ④*⑦

よもすがら(副) 八ウ⑧・一六ウ⑨・二四オ④*⑩

よよ(世々・代々) 一ウ⑨・三ウ⑧・三六ウ*④

六ウ*④

よる(夜) 一六ウ⑧・三六オ*⑦

cf よ

よる(寄)(動四)

—る困三六オ*⑥ よるかたもなく

cf たちー・よるよる

よるよる(夜々) 二二六オ*③*⑨(

引

りつし(律師) 五オ③

れい(例)

へーのく 二四オ⑧・二五ウ⑨・二八オ⑦

総

わ

わが(我) 八オ*⑥・一〇オ*②*⑨・一〇ウ*⑨・一二ウ*⑧・一五ウ*⑥・一八ウ*③・三七ウ*①

わかし(形)

—き困二三ウ① わかき人々

わかのうら(和歌浦) 四オ*②

わかのうらかぜ(和歌浦風) 一〇オ*④

わかのうらぢ(和歌浦路) 二八ウ*⑤・三五ウ*④

わかる(別)(動下二)

cf たちー・とびー

わかわかし(形)

—き困二七ウ⑨ わかくしきわらは

やみ

わく(分)(動四)

—か困二二オ⑥ あやめもわかぬほど

わけく(分来)(動力変)

—二困二二ウ*⑩ 山ち分こし袖のし

つくを

わけゆく(分行)(動四)

—く困二一オ⑨ はら野を分ゆく

わざと(副) 一五ウ①

わする(忘)(動四)

—ら困三三ウ*② わすられぬもとの

心の

わする(忘)(動下二)

—れ困二七ウ*⑦ 忘れすは

三七オ*④ いさめ置しをわす

れすは

—れ困二ウ⑥ は、かりをわすれ

(二六ウ*⑥) しましみやこそ

忘員

cf おほしめしー

わすれがひ(忘員) 二六ウ*⑥

わたうど(渡津) 一二オ⑥

わたくし(私) 三六ウ*⑥

わたす(渡)(動四)

cf うちー・みー

わたり(渡)

cf てんりゆうのー

わたり(刃) 一〇ウ⑤・一六ウ⑤

わたりゆく(渡行)(動四)

—く困九オ① さなからわたりゆく

わたる(渡)(動四)

—ら困八オ*⑨ わたらましやは

一四ウ*⑩ わたらむと

—り困一一オ*⑦ わたりぬる哉

一六オ③ わらしな川とかやわたりて

十五瀬をそ渡りぬる

—る困九オ⑨ あやうけれとわたる

一五オ③ 河をわたる

一七ウ⑧ ふし川わたる

—る困七ウ③ やす川わたる程

八オ⑦ 藤河わたる程

一四オ*② うき世にわたる程

二六ウ*⑩ なかめてわたる浦

風に

cf たどりー

わづかなり(形動)

—に困三六オ*③ わづかに命をかけ

ひとて

わづらひ(煩) 一五オ④

わびはつ(佗果)(動下二)

—つる困三六オ*⑥ わびはつる子を

思ふ

わぶ(佗)(動上二)

cf さえー・すみー

わらしながは(蕪科川) 一六オ③

わらはやみ(瘡) 二七ウ④

われ(我) 三ウ*⑦・九オ*⑥・二六ウ*⑦

・二九ウ⑦・三三オ*⑩

わるし(形)

—から困三三ウ⑨ わろからん事を

—く困八ウ⑩ みちいとゝわるくて

ゐ

ゐ(井)

cf みづの—

ゐる(居)(動上二)

ゐる困一三オ⑥ 岩のうへにもゐたり

ゐる困一三オ*⑦ かもめゐる洲崎の

岩

cf おきー・むれー

ゐん(院) 五ウ⑨

cf あんかもんー・おほみやの—のこ

んちゆうなごん・くはこくもんー

のしんちゆうなごん・しきかむも

んー・なかの—のちゆうじやう・

にようー

糸

糸(総) 一三オ*③

を

をか(岡) 一オ④

をかし(形)

—く困一五ウ② おかしくも哀にも

三二ウ⑤ おかしく成にけり

—し困一六ウ② いとおかし

二五ウ③ いと哀にもおかし

をく(置) —→おく

をくる(送) —→おくる

をくる(後) —→おくる

をこがまし(形)

—けれ困六ウ② いとおこがましけれ

と

をこす(遣) —→おこす

をさなし(形)

—き困二四オ⑦ おさなき人々

をさまる(抱)(動四)

—り困三五ウ*① 涙もしつかにおさ

まりて

をさむ(浴)(動下二)

—め困一ウ⑤ 世をおさめものをやは

らぐる

をし(惜)(形)

—から困二ウ① おしからぬ身ひとつ

をしふ(教)(動下二)

—へ困四オ*⑨ をしへざりせば

をち(遠) 三二ウ*⑨・三三オ*⑤

をちこち(遠近) 一四ウ②

をと(音) —→おと

をとつれ(訪) —→おとつれ

をとつれく(訪来) —→おとつれく

をのこ(男子)

—ども 二オ②

をのづから —→おのづから

をのしゆく(小野宿) 七ウ⑧

をはりのくに(尾張国) 九ウ⑨

をふね(小舟) 一四オ*③

cf あまー

をまくら(小枕) 一六オ⑥

をよぶ(及) —→およぶ

- をり(折) 二六ウ③
- をりから(折柄) 三二オ①
- をりしも(連語) 一〇ウ①・二八オ⑤
- をんな(女子) 五ウ⑦